【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年6月29日(2022.6.29)

【公開番号】特開2022-65009(P2022-65009A)
【公開日】令和4年4月26日(2022.4.26)
【年通号数】公開公報(特許)2022-075
【出願番号】特願2022-16762(P2022-16762)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ25/095(2006.01)
Ａ６１Ｊ15/00(2006.01)
Ｇ０１Ｂ 7/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ 25/095
Ａ６１Ｊ 15/00 Ａ
Ｇ０１Ｂ 7/00 １０２Ｍ

【手続補正書】
【提出日】令和4年6月21日(2022.6.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
挿入チューブを位置決めするための案内システムであって、
電磁センサを備える挿入チューブであって、前記電磁センサは電磁場に対する当該電磁センサの位置および／または向きを感知するように構成された、挿入チューブと、
治療領域内で被験者の胴体上に配置されるように構成された基準センサであって、被験者の胴体の位置および向きを表す基準座標系を画定するように構成され、挿入チューブの挿入とは独立して配置されるように構成される、基準センサと、
少なくとも第１および第２の解剖学的位置および／または向きをマーキングするように構成された位置合わせセンサと、
処理回路と、を含み、
前記処理回路は、
前記基準センサおよび位置合わせセンサから得られた信号を読み取り、前記信号に基づいて、外部電磁場に対する被験者の向きを計算し、
被験者の処置前外部画像を選択し、ディスプレイにロードし、
処置前外部画像上の第１および第２の解剖学的位置の位置をマークし、
処置前外部画像上に、第１および第２の解剖学的位置に対する前記挿入チューブの挿入の経路であって、前記挿入チューブの挿入中に先端センサによって感知される前記外部電磁場の強度の変化に従って生成される経路を示すよう構成されている、
案内システム。
【請求項２】
前記処理回路はさらに、胴体を表す所定の解剖学的マップをロードし、前記処置前外部画像の前記選択およびロードの前に、前記位置合わせセンサによってマークされた前記第１および第２の解剖学的位置と、前記被験者の前記計算された向きとに基づいて、前記マップを位置合わせするように構成される、請求項１に記載のシステム。
【請求項３】

前記基準センサは、前記被験者の胴体の側面に配置されるように構成される、請求項１に記載のシステム。
【請求項４】
前記処置前外部画像を表示するように構成されたモニタをさらに備える、請求項１に記載のシステム。
【請求項５】
前記位置合わせセンサは、手動で操作されるように構成されたスタイラスの先端に組み込まれる、請求項１に記載のシステム。
【請求項６】
前記第１の解剖学的位置は胸骨上切痕であり、前記第２の解剖学的位置は剣状突起であり、前記第１および第２の解剖学的位置に対する前記挿入チューブの経路表示は、挿入の成功を示す、請求項１に記載のシステム。
【請求項７】
前記挿入チューブが栄養チューブである、請求項１に記載のシステム。
【請求項８】
前記電磁センサは、前記挿入チューブの遠位先端に配置される、請求項１に記載のシステム。
【請求項９】
前記電磁センサは、前記挿入チューブ内に取り外し可能に配置されるように構成された別個のユニットである、請求項１に記載のシステム。